

あだちNPOフェスティバルで 高齢者疑似体験・車いす体験を実施

毎月、介護者同士の交流や介護・予防の勉強会などを行っている「家族を介護する人をつなぐ会」。今回、フェスティバルに出展するにあたり社協へ出前講座の依頼があり、一緒に高齢者疑似体験・車いす体験を実施しました。

実際に様々な装具を身に着けることで、加齢に伴う運動機能、眼や耳などの感覚の変化を体験することができます。車いす体験では、どのような場所に不便や危険があるか知ることができました。

たくさんの方々が興味を持って参加され、体験を通して高齢者・障がい者への理解を深めていました。



高齢者疑似体験の様子。両足に重り、耳にはイヤーマフ、眼には視覚障害ゴーグルを装着し杖で歩いてみました。



車いす体験では、段差を超えるのに四苦八苦。バリアフリー（地域にある障壁をなくすこと）の大切さを学びました。



家族を介護する人をつなぐ会のみなさんと社会福祉協議会職員。みんなで協力しながら出前講座を行いました。

取材日：令和5年11月19日 参加者数：50名

取材メモ：高齢者疑似体験に参加したお子さんの「おばあちゃんにやさしくしないと」という言葉を聞き、温かい気持ちになりました。（足立社協 中部地区担当）

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374